

各 位

2021 年 8 月 20 日
株式会社インプレス

世界標準の EC プラットフォーム、運用方法を集大成
『Shopify 運用大全 最先端 EC サイトを成功に導く 81 の活用法』
を 8 月 24 日（火）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、世界標準のECプラットフォームShopifyの運用方法を集大成した『Shopify運用大全 最先端ECサイトを成功に導く81の活用法』を2021年8月24日（火）に発売します。

最先端 EC サイトを成功に導く
81 の 活 用 法

Shopify
運用大全



■世界標準の EC プラットフォーム、日本での運用をもっと効果的に

Shopify（ショッピファイ）は近年、世界的に利用者が増加しているカナダ発の EC プラットフォームです。2020 年の米国での小売 EC シェアは、Amazon に次ぐ 2 位。日本でも同年の国内流通総額は 323%増、新規出店数伸び率 228%増(共に前年比)と、爆発的な成長を遂げています。コロナ禍での EC 需要の高まりもあり、“世界標準”とも呼ばれる EC プラットフォームを使い、ネットショップを開業しようという事業者が急増しているためと思われます。そこで本書は、海外産の EC プラットフォームを国内でどのように活用すると効果的なのか、運用面で発生する様々な疑問を解消することを目指して制作されました。

■発売前からベストセラー! Shopify のプロが教えます

2017 年の日本上陸以来、Shopify の普及を支えてきた公認のプロフェッショナルたちを著者に招き、EC の基礎からサイト構築方法、アプリ選び、集客&SNS、物流・会計・CS、ひとり運営、グロースハック、そしてあまり知られていないエキスパートとの協業、最上位プランの活用まで、運用にまつわる様々な疑問に答えます。本書は Amazon で 7 月から予約が開始され、発売前にカテゴリーで 1 位を獲得しました※。

※Amazon ランキング「e コマース」「クラウド」「サービス・小売一般関連書籍」（2021 年 7 月 30 日調べ）

Section
24

EC業務の必須知識

EC運営にまつわる 業務の全体像を把握する

EC運営は大きく「フロント」と「バックオフィス」に分けて考えることができます。ここでは、その全体像を整理しながら、運営上盲点となりやすいポイントを解説していきます。

✓ **EC運営の「フロント」と「バックオフィス」**

EC運営における業務は、図表24-1のように大きく「フロント」と「バックオフィス」の2つに分けて考えることができます。

フロント業務は、ECサイトを利用するユーザーから見える表の部分です。たとえば、2章で解説したブランディング、商品企画、マーケティング、SNS活用をはじめとするプロモーション、そしてECサイトの制作と更新にまつわる業務です。

一方、バックオフィスはユーザーからは見えにくい部分の業務を指します。たとえば、製品調達、商品登録・公開、受注処理、カスタマーサポート（CS）、物流、会計などの業務です。そして受注処

図表24-1 EC運営の全体像

フロント

- ブランディング
- 商品企画
- マーケティング
- プロモーション
- ECサイト制作
- ECサイト改修・更新

バックオフィス

- 製品調達
- 商品登録・公開
- 受注処理
- カスタマーサポート
- 物流
- 会計

図表24-2 バックオフィス業務の流れ

注文 → ECサイト → 受注管理 → 在庫管理 → 物流 → 購入者

出典：LOGLESS Blog「ECサイト運営の受注～出荷まで全てを自動化！『OMS・WMS一体型システム』のメリットとは？」 <https://www.logless.com/blog/oms-wms/> (2021/10/17)

理、カスタマーサポート、物流のフローをさらに細分化すると、図表24-2のようになります。

EC運営について説明するとき、フロントについて重点的に語られることが多い印象ですが、**EC事業を成長させるには、バックオフィス業務も含めた全体像を理解することが重要**です。この章では、特にバックオフィスに焦点を当てつつ、フロントとの連携という観点も交えながら解説していきます。

✓ **各業務の連携不足がトラブルにつながる**

EC運営においてトラブルの原因となりがちなのが、制作やマーケティングなど各業務を専門とする支援会社や担当者はいらぬものの、それぞれがうまく連携していないという構造です。EC運営を支援するサービスを提供している会社は多いのですが、実際にECの運営をしたことがない事業者も多く、フロントとバックオフィスの両方を理解している支援会社が非常に少ないのが現状です。

社内で運営を行っている場合でも、担当者やチーム同士が連携していないということがよくあります。しかし、フロントで受けた注文は

110

111

ECの基礎から最上位プランの活用まで、図解を用いてわかりやすく解説

Section
68

アプリ活用が協業を見極める

エキスパートに頼らず アプリでどこまでカバーできる？

ここまで、Shopifyエキスパートとの協業について書いてきましたが、逆説的にエキスパートに頼らずに運営を試みるさいに必要な情報を、このセクションでは共有します。

✓ **オススメアプリ一覧とアプリのできる境界**

エキスパートに頼らない場合に必要となるのが、Shopifyアプリの知識です。

Shopifyのアプリストアに公開されているアプリを活用することは、ストア運用・物流・集客などの面において、さまざまなメリットをストアに提供します。

こういったアプリを活用することによって、他のECカート以上の機能を享受することができます。その一部を紹介しながら、後半ではアプリ活用の限界も示します。

✓ **① 集客系のアプリ**

Googleチャンネル

- <https://apps.shopify.com/google?locale=ja>
- CPC（クリック課金型）広告の基本であるGoogle広告に、Shopify上のデータを連携し簡単に広告出稿できるようになる（第2章P.74、第5章P.209）

Facebookチャンネル

- <https://apps.shopify.com/facebook?locale=ja>
- CPC（クリック課金型）広告のなかでもFacebookやInstagramといっ

たD2C商材に適した広告に、Shopify上のデータを連携し簡単に広告出稿できるようになる（第2章P.74、第5章P.201）

アフィリエイト連携「集客」

- <https://apps.shopify.com/shopify-application-102?locale=ja>
- CPA（Cost per Acquisition；顧客獲得単価→売上成果報酬型）広告であるアフィリエイト広告を簡単に広告出稿できるようになる。LINEショッピングや比較サイトに売上成果報酬で出稿できるようになるので、リスクが少なくオススメできる（P.263）。

※2021年9月にアプリ名称を改変し、大幅アップデート予定

✓ **② コンバージョン向上・アップセル・クロスセルのアプリ**

Tidio - Live Chat & Chatbots

- <https://apps.shopify.com/tidio-chat?locale=ja>
- ストア運営者とユーザーがチャットルームでメッセージをやり取りすることができる。運営側は管理画面からメッセージの返信ができ、またメッセージの履歴をユーザーごとに管理ができるため便利

Popup

- <https://apps.shopify.com/powr-popup?locale=ja>
- カゴ落ちを防ぐために、顧客がセッションを終了するさいに、割引ポップアップまたは特別オファーポップアップを表示できる。また、カスタマイズされたポップアップでメールアドレスを収集し、ポップアップを通してサインアップした後、自動でウェルカムメールを送信することもできる

284

285

関連アプリやサービスを多数紹介。QRコードからも手軽にアクセスできる

■本書はこんな人におすすめです

- ・ そもそも「Shopifyって何？」というビジネスパーソン
- ・ ECをはじめたい既存店舗主・小規模事業者
- ・ EC関連の新規事業担当者
- ・ 実際にShopifyを使ってみて運用面で困りごとのある事業者

■目次

- Chapter 1 最先端ECを実現するShopify とは
- Chapter 2 ECビジネスで活用するための基礎知識
- Chapter 3 フロントとバックオフィスの必須知識
- Chapter 4 “ひとり運営”のための効率化大全
- Chapter 5 グロースハックでさらなる高みを目指す
- Chapter 6 Shopifyエキスパートとの協業
- Chapter 7 最上位プランShopify Plusの活用

■書籍の情報



書名：Shopify運用大全 最先端ECサイトを成功に導く81の活用法

著者：河野貴伸・南茂理恵・井澤孝宏・三浦卓也・黒瀬淳一・安藤祐輔・森田泰則

発売日：2021年8月24日（火）

ページ数：360ページ

サイズ：A5判

定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）

電子版価格：2,200円（本体2,000円＋税10%） ※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01243-6

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295012432/>

◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1120101169>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501243.jpg>

■著者プロフィール



河野貴伸（こうの・たかのぶ）

株式会社フラクタ代表取締役。Shopify 日本初代エバンジェリスト。株式会社Zokei 社外CTO。ジャパンEコマースコンサルタント協会講師。元 株式会社土屋鞆製造所 デジタル戦略担当取締役。「人の“心”に届く、ブランドの最適解を探究し続ける」をミッションに、ブランドビジネス全体とD2Cブランドへの支援活動及びコマース業界全体の発展とShopifyの普及をメインに全国でセミナー及び執筆活動中。



南茂理恵（なんも・りえ）

株式会社フラクタ執行役員、One by One局 共同局長。デジタルとアナログを問わず、制作全体のディレクション、プロジェクト推進を実行する局の統括を担う。主にはメンバーを後ろからバックアップする役目が多いが、OMOを前提としたブランドの高速立ち上げを共に並走し具現化する、ミッションスペシャリストとしても活躍。



井澤孝宏（いざわ・たかひろ）

コマースメディア株式会社 代表取締役。上智大学卒業後、楽天株式会社に入社。ECコンサルタントとして売上改善業務を担当。2016年より現職。Shopifyを中心としたECサイトのマーケティング・制作・運用・ロジスティクスのサポート及びコンサルティングを行う。2017年日本で3社目となるShopifyエキスパートに認定。Shopify E-commerce Awards 2019受賞。2020年Shopifyエバンジェリスト就任。



三浦卓也（みうら・たくや）

日本初のShopify教育パートナー認定者。2016年に独立し『ミウラタクヤ商店』開業。2019年からShopifyを活用し1年で売上400%成長達成。注文単価160%達成。リピート率200%へ改善。ストア立ち上げ・商品開発・受注処理・カスタマー対応・物流・広告・アプリ研究など、現場の一人EC運営を徹底。EC家庭教師という簡易型コンサルティングサービスを提供。



黒瀬淳一（くろせ・じゅんいち）

株式会社StoreHero Co-founder &代表取締役CEO。筑波大学卒業、神戸大学大学院修了後、アクシズに参画。取締役としてSaaSの開発・販売に従事し、同社を売却。その後、様々な企業に参画し、複数の上場を経験。2019年、StoreHeroを創業。10年後のコマースのスタンダードを作るべく、Shopify特化でグロース支援、ストア構築、App開発などメインに活動。



安藤祐輔（あんどう・ゆうすけ）

連続起業家。株式会社ハックルベリー代表取締役、Shopifyアプリ事業を展開する。高校を卒業後、東京消防庁入庁。その後、筑波大学に入学し、4年次に起業するという、少し異色の経歴を持つ起業家。EC店舗運営、海外EC起ち上げ及び運営支援、EC向けマーケティングベンダーとしての支援経験とECに関する幅広い立場での関与経験がある。Shopifyエキスパート認定。



森田泰則（もりた・やすのり）

株式会社フラクタ ブランディング・テクノロジスト。2012年に株式会社フラクタの立ち上げに参画し現職。多くの業務を抱えるブランド担当者が本来やるべき業務に集中できるよう「無理しないWebサイトと、チーム作り」実現のため、情報発信や人材育成、制作コンサルティングを行っている。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。